

ナノテラスARPESシンポジウム —ナノ集光で拓くサイエンスの新展開—

2023年2月21日(火)-22日(水)

東北大学 材料科学高等研究所(WPI-AIMR) 本館2Fセミナー室

東北大学新青葉山キャンパスで建設の進む次世代放射光施設「ナノテラス」には、世界最先端となる高輝度・高コヒーレンス光の特徴を利用した様々な分野でのイノベーションが期待されています。本シンポジウムでは、放射光ARPESを積極的に利用する全国の研究者の方々が一堂に会し、ナノテラスのARPESビームラインBL06Uにおいて展開するサイエンスについて、現場の実務的な観点を重視した総合的な議論を行います。



2月21日(火)

13:00-13:05 はじめに **堀場弘司 (QST)**

13:05-13:50 **堀場弘司 (QST)**

ARPESビームラインBL06Uの概要

13:50-14:35 **佐藤宇史 (東北大)**

ナノ計測による量子物質における電子状態解明の展望

14:35-15:20 **近藤 猛 (東大)**

ARPESで観察する擬一次元積層物質におけるトポロジカル相の歪み制御とナノテラスビームラインでの応用研究

15:20-15:40 休憩

15:40-16:25 **松井文彦 (UVSOR)**

もう一つの顕微ARPES：光電子運動量顕微法 世界動向とUVSORの現状

16:25-17:10 **矢治光一郎 (物材機構)**

NIMSにおける材料研究のためのスピン分解光電子分光

17:10-17:55 **奥田太一 (広島大)**

次世代スピン分解光電子分光測定に向けたHiSORでのR&Dの現状
—ナノテラスにおけるナノスピンARPESへの期待

2月22日(水)

9:00 - 9:45 **石坂香子 (東大)**

レーザー顕微ARPESによる原子層物質の物性探索

9:45-10:30 **木村真一 (阪大)**

外部摂動下の強相関係の分光とnanoARPESへの期待

10:30-10:50 休憩

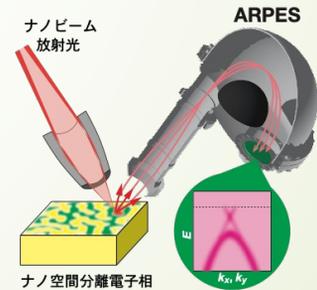
10:50-11:35 **平原 徹 (東工大)**

in situ ARPESによる原子層単位で制御された極薄物質の新奇電子状態の解明

11:35-12:20 **松田 巖 (東大)**

新規ディラック電子系材料の開拓とナノ領域分析技術の開発

12:20-12:25 おわりに **佐藤宇史 (東北大)**



主催：東北大学AIMR、QST次世代放射光施設整備開発センター

共催：東北大学SRIS

Webページ：

<https://arpes.phys.tohoku.ac.jp/arpes-workshop/arpesworkshop.html>



世話人：堀場弘司(QST)、岩澤英明(QST)、佐藤宇史(東北大)、相馬清吾(東北大)